

平成29年 第1回定例会

一 般 質 問

[会派代表質問]

印西市議会

順番	会 派 名	議員番号	議 員 名	質問方式
1	ひ ぎ し	1 5 番	松 尾 榮 子	一問一答 (登壇あり)
2	公 明 党	7 番	浅 沼 美 弥 子	一問一答 (登壇なし)
3	日 本 共 産 党	2 0 番	山 田 喜 代 子	一問一答 (登壇あり)
4	響 (ひびき)	1 8 番	金 丸 和 史	一問一答 (登壇なし)
5	北 総 志 政 会	1 3 番	藤 代 武 雄	一問一答 (登壇なし)
6	新 政	1 7 番	軍 司 俊 紀	一問一答 (登壇あり)
7	創 進	6 番	櫻 井 正 夫	一問一答 (登壇なし)

ひ ざ し

質問者 15番 松尾 榮子

1 平成29年度当初予算と重点事業について

平成29年度は、第2次基本計画の2年目に当たり、市の将来都市像「ひとまち 自然 笑顔が輝く いんざい」の実現に向けて、基本計画で定めた各事業の着実な推進が望まれる年度である。そこで伺う。

(1) 当初予算規模について

- ①一般会計
- ②特別会計
- ③総額

(2) 平成29年度一般会計における各部の重点事業と予算について

(3) 新規事業について

(4) 健全財政への取り組みについて

将来にわたり持続可能で健全な財政運営に向けて、次の各点についてどのように考え、新年度予算に反映されたかを伺う。

- ①経常経費について
- ②特別会計について
- ③組合事業について
- ④将来財政負担について
- ⑤基金積立について

2 千葉ニュータウン事業関連課題について

千葉ニュータウン事業は、昭和42年の開始以来、今年でちょうど50年になる。この半世紀、千葉ニュータウン事業が印西市の成長に果たしてきた役割と影響は大変大きなものがあったのではないかと思う。新住宅市街地開発法に基づく事業は平成26年3月をもって収束したが、印西市においてはまだ多くの未処分地があり、平成30年度まで処分等の事業が継続されている。そこで伺う。

- (1) 千葉ニュータウン事業用地の処分状況
- (2) 企業進出、住宅開発等の新たな動向
- (3) 残る課題と対応
- (4) 処分完了目標時期について
- (5) 平成30年度以降の体制について

3 印旛高校跡地活用事業について

印旛高校跡地活用については、昨年、木下交流の杜広場、学童保育施設、歴史資料展示施設がオープンし、引き続き残る施設の整備が進められている。そこで以下の各点について伺う。

- (1) 各施設整備の進捗状況
 - ① 幼保連携型認定こども園（開園に向けての準備状況）
 - ② (仮称)障がい者サポートセンター
 - ③ (仮称)木下交流の杜公園
 - ④ スポーツ広場
 - ⑤ 市民農場
 - ⑥ その他施設
- (2) 整備手法について
- (3) 各施設ごとの管理運営体制について
- (4) 印旛高校跡地全体の管理運営体制について

4 市民が高齢になっても安心して暮らせるまちづくりについて

高齢者が住み慣れた地域できめ細やかな介護予防、日常生活支援ほかのサービスが受けられるよう、印西市は、第6期高齢者福祉計画及び介護保険事業計画に基づき、現在新しい地域包括ケアシステムの構築を進めている。そこで伺う。

- (1) 5圏域5地域包括支援センター体制の進捗状況
- (2) 新しい総合事業への移行について
- (3) 在宅医療と介護の連携について
- (4) 「いんざいオレンジカフェ」について
 - ①参加実績
 - ②効果
 - ③今後の予定

5 福祉避難所について

災害時に、学校等の一般の避難所で過ごすのが困難で、特別な支援が必要な高齢者や障がい者、妊産婦等のために設けられる福祉避難所について伺う。

- (1) 福祉避難所の考え方について
- (2) 福祉避難所の開設を予定している公共施設等について
- (3) 福祉避難所開設予定施設への備品配備について
- (4) 民間事業者等との福祉避難所の設置運営に関する協定について

6 こどもたちが安心して育ち学べる教育環境づくりについて

- (1) 新年度の各学校の学級数、児童数の見込み

- (大規模校・小規模校について)
- (2) 学童保育入所児童数の見込み
 - (3) 通学の安全対策について
 - (4) いじめ対策について

公 明 党

質問者 7番 浅 沼 美弥子

1 国政と市政の連携

- (1) 無電柱化推進法への対応について
- (2) 自転車利用促進法への対応について
- (3) 子ども医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額調整措置について
- (4) 改正年金機能強化法（無年金者救済法）の対応について

2 男女共同参画社会の推進

- (1) 印西市特定事業主行動計画（前期計画）について
 - ①女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく状況把握等は十分か。
 - ②計画の着実な遂行に必要な全職員の協力・理解は進んでいるか。
 - ③実施事項の進捗状況等について
- (2) 男性における男女共同参画推進の取り組みを進めてはどうか。
- (3) 家庭生活における男女共同参画の現状と推進に向けた取り組みについて

3 中学校の部活動の現状と課題

- (1) 部活動の教育的効果について
- (2) 部活動の課題（教師側・生徒側）等について
- (3) 運動部活動の状況について（全国公立、千葉県公立の状況と比べてどうか）
- (4) 部活動における休養日設定について

4 水害対策

- (1) ハード面について
 - 豪雨等により冠水・浸水しやすい場所等水害被害が予測される場所について、根本的に改善するための対策は進んでいるか。

(2) 防災上の配慮を要するものが利用する施設への対応・対策について

昨年8月の台風10号による豪雨災害により岩手県岩泉町の高齢者施設で入所者が逃げ遅れ9人が犠牲となった。町では情報を発令したが施設側に意味が浸透していなかったこともあり悔やまれる。このことを教訓に当市ではどのような対応を行ったか。

日本共産党

質問者 20番 山田 喜代子

1 平和事業について

非核平和都市宣言の市として、又、平和首長会議に出席した市長として、それにふさわしい事業を今後、どう発展・拡充する考えか。

2 国道464号の掘割部から草深に上がる草深ランプは閉鎖されたままの状況である。今後の展望はあるのか。

3 泉野地区の交通の利便性及び安全性の確保について

物流施設や商業施設が集中する泉野地区は、市外・市内問わず多くの買物客が訪れる。しかし、当地区は、場所によっては信号はおろか、横断歩道すら設置されておらず、不便且つ通行の安全が保障されていない。

現状の改善をどう進める考えか。

4 生活保護行政について

最後のセーフティーネットである生活保護制度は、十分に活用されているだろうか。

- (1) 制度への周知は充分であるという認識か。
- (2) 格差と貧困が広がる中、受給漏れを防ぐよう力を尽くしているか。
- (3) 被保護者に寄り添った対応となっているか。
- (4) 職員研修を充分に行っているか。
- (5) 職員体制は、充分であるという認識か。

5 障がい者に対する施策について

障がいのある人もない人もともに暮らせるまちづくりを

- (1) 県内の他の自治体では、公営住宅の入居に際し、市営住宅への優先入居や特別枠などの対応をしている。しかし、市には、公営住宅は設置されて

- いない。対象者の負担軽減をどう考えているか。
- (2) 交通費への助成は充分と言えるか。
 - (3) はり・きゅう・あん摩・マッサージ等の助成の考えはないか。
 - (4) 障がい者が65才になった時点で、障害者総合支援法から介護保険法の適用となることについて、県は、「一律に介護保険を適用しない様求める『国の通知』を説明し、市町村に適切に対応する様求めている。」としている。現状はどうか。

6 部活動のあり方について

- (1) 部活動の保護者負担の状況を把握しているか。
- (2) 保護者負担の軽減をどうはかる考えか。
- (3) 教育行政の中の部活動のあり方。

響（ひびき）

質問者 18番 金丸和史

1 マイナンバー制度に関すること。

- (1) 現在の全体の交付状況は。
- (2) 通知カードの市民への到達状況はどのようになっているか。
- (3) (2)について市で保管している通知カードの枚数は。
- (4) 保管している通知カードは、今後どのように扱うのか。
- (5) 次のマイナンバーカードの交付はどうしているのか。
 - ①障がい者の対応については、どのように行っているか。
 - ②居所地経由申請方式の実績はあるのか。
- (6) 住民票等コンビニエンスストア交付サービス開始の周知は行っているのか。

2 パスポート発券業務に関すること。

- (1) 千葉県から何か通知等あるのか。
- (2) 権限移譲により財源等の話はあるのか。
- (3) どの程度の経費がかかるか試算しているのか。
- (4) 視察した東海市のように他自治体との共同処理を考えているのか。
- (5) 交付場所はよく検討した方が良いのではないか。

- 3 「印西市行政組織規則」に関すること。
- (1) 「L E D」に関する施策はどの部署が行うことになるのか。
 - (2) 新規事業等で同規則に書かれていない内容の業務や間のような業務が生じた場合は、どのように対応しているか。
 - (3) 同規則の見直しは毎年度行っているのか。
 - (4) 事務分掌の見直しはどのように行っているのか。
- 4 再任用制度に関すること。
- (1) 希望者をどのように把握しているのか。
 - (2) 再任用希望者の報酬はどのように決定しているのか。
 - (3) 再任用の場合、業務はどのようにして決定しているのか。
- 5 「偽装請負」への対応に関すること。
- (国土交通省は平成29年度から、千葉県は平成29年1月から一次下請け事業者の社会保険加入を徹底している。)
- (1) 国からの通知は来ているのか。
 - (2) 市発注の工事はどのように指導していく考えなのか。

北 総 志 政 会

質問者 13番 藤 代 武 雄

- 1 市制施行20周年記念事業について
- (1) 市制施行20周年記念事業の検証について
 - (2) 事業協力団体等からの検証について
- 2 地域振興策について
- (1) 北千葉道路の延伸に伴う課題について
 - (2) 印旛沼及び周辺地域を活用した振興策について
 - ①観光・レジャー等の振興策について
 - ②幹線道路の整備について
 - ③市民からの提案の取組状況
 - (3) 地域コミュニティの構築について

- 3 教育施策について
 - (1) 教職員の指導力の更なる向上について
 - (2) 地域づくりと社会教育機関の役割

- 4 職員管理について
 - (1) 職員の適正配置に関する基本方針
 - (2) 職員の意向調査
 - (3) 出先機関等の人員配置について
 - (4) 職員の再任用制度の検証について

新 政

質問者 17番 軍 司 俊 紀

- 1 平成29年度の市政運営について
 - 板倉市政2期2年目となる平成29年度はどのような方針で市政運営を行うのか、以下の点について伺う。
 - (1) 今年度から新たに始まった財政計画に掲載されている平成29年度の歳入、歳出の推計と「予算(案)」と差はどの程度でているのか。
 - (2) 「地域包括ケアシステム」の構築に向けて、平成29年度はどのような予算策定方針で臨んだか。
 - (3) 市長公約でもある「北総鉄道の利便性向上・運賃値下げ」に向けての取り組みは平成29年度どのようにすすめるのか。
- 2 子育て環境の充実について
 - 市では、平成27年4月から子ども・子育て支援新制度が本格スタートしたことに伴って、平成27年度から平成31年度を計画年度とする「印西市子ども・子育て支援事業計画」を策定しました。
 - この計画では、今後5年間の幼稚園、保育園などへの需要の見込みに対する確保方策や地域子ども・子育て支援事業の実施内容などを示されているが、現状と今後をお聞きする。
 - (1) 保育園について
 - 毎月、市では市内認可保育園（公立・私立）・小規模保育事業の空き状況を公開しているが、その内容については入園を希望する保護者にとっては厳しいと言える。平成29年度を含む今後の保育園・小規模保育事業の見

通しを確認する。

(2) 学童保育について

共働き家庭において、子どもが保育園から小学校に進級する際に直面する「小1の壁」について、印西市はどのような認識をもっているのか。(特に学童保育の今後の見通しについてお聞きする。)

3 千葉ニュータウンについて

千葉ニュータウン事業は平成25年度(2014年3月まで)で事業収束し、土地処分が進み、最近では、いには野に「東横イン」や滝野にショッピングセンターの進出が決定したと聞く。土地処分が最終段階を迎える中でURや千葉県が千葉ニュータウンから完全に手を引くまでに、市として改めて「千葉ニュータウン事業の収束に伴う課題を整理し、市民に公表していくべきである」と考える。

- (1) 今後の入居予定人口はどのくらいを見込んでいるのか。
- (2) 公園、緑地はどのくらい増えるのか。
- (3) 道路の整備についてはどうなるのか。
- (4) 収束に伴う課題で残っている課題はどのようなものがあるか。

4 市内小中学校の運営について

(1) 学校規模の適正化について

市内大規模校となっている小倉台小学校と原小学校ではさらに多数の児童の入学により学習環境にも影響を及ぼしていくものと考えている。それぞれの学校では短期的には教室の増設等による対策をとっているが、中長期的にどのような方針を立て、対応していくのか。

(2) 市長公約として掲げている項目についての現状と今後をお聞きする。

- ①小中学校へのエアコンの整備
- ②学校トイレの洋式化
- ③楽器購入

(3) 市内の小中学校は「指定避難所」となっているが、災害時に学校施設はどこまで開放されるのか。

5 放射線/放射能対応について

平成29年度において予算措置はされているのか。

6 木下駅圏の活性化に向けて

(1) 印旛高校跡地活用事業として「スポーツ広場整備事業」があるが、市民要望は伝わっているのか。

(2) 印西消防署の跡地については、今後どのように活用していくか検討され

ているのか。

7 牧の原駅圏の将来について

- (1) 「松崎工業団地入口」の交差点では昨年市内で一番交通事故が多い交差点として、市のHPで公表された。この交差点では以前より右折信号の設置が求められているが実現していない。
信号設置についての動きはあるか。
- (2) 消えている横断歩道やセンターライン等の白線についての対応は進んでいないように思えるが、今後についてお聞きする。

創 進

質問者 6番 櫻井正夫

1 ごみの処理と資源化について

今年度よりスタートした印西市第5次実施計画では、ごみの減量化・再資源化の推進事業として「環境負荷の低減に資する循環型社会の実現を目指し、市民へのごみ減量化意識の啓発活動の実施や小売店との協力体制の確立を図り、ごみの減量化・資源化を推進する。」としています。

そこで、以下の質問をします。

- (1) ごみ排出の現状をどうとらえているか。
- (2) 資源物は、どのような資源になっているか。
- (3) 資源物処理のコストは、どうなっているか。
- (4) 市としての資源循環の基本方針を持っているか。

2 有害鳥獣駆除について

市内におけるイノシシの被害は年々増加している状況で、農家でもその対策に苦慮しているところですが、平成28年第4回定例会の一般質問の答弁の中で、「市では安全に有害鳥獣駆除を進めるために猟友会に依頼していて、駆除した個体のクリーンセンターでの焼却処分に係る費用は市で負担している。しかし、有資格者が個人的に捕獲したものについては、市からの依頼はしていないので個人負担となる。」ということでした。

この件について質問します。

- (1) 有資格者が、印西市内で有害鳥獣の捕獲をした場合の焼却処分費も市の負担でおこなうことはできないか。

3 自治会等の要望事項について

町内会や自治会からの要望として、道路補修や側溝の整備、カーブミラー、防犯灯等の整備要望が数多く出てきていると思いますが、年度内に要望通り対応されることはないと聞きます。

そこで伺います。

- (1) 各地区から上がった要望が何件あって、その内実施できたものは何件だったか。
- (2) 一般的に次年度以降に実施される場合もあるのか。
- (3) 実施できないものについては、その理由とともに通知しているか。

4 道路の整備について

市道の中でも痛んだ幹線道路について、穴埋め等の応急手当をするだけのところが多いように見受けられます。

そこで質問します。

- (1) 舗装の補修については、どのような基準で行われているのでしょうか。
- (2) 市道に架かる橋梁について、錆が出ているところもあるようです。補修についてどのような基準で行われているのでしょうか。

5 印旛沼流域の環境と振興問題について

- (1) 印旛沼の浄化に関し、新しい動きはあるか。
- (2) かみつき亀対策、印旛沼公園の管理等市民と関係の深い問題について県との協力体制は、有るのか。
- (3) 印西市山田の双子橋師戸地区に至る道路の拡幅計画はどうなっているか。
- (4) この間を幅の広い車両の制限はできないか。
- (5) 印旛沼周辺自転車道について、印旛沼を一周できるように印西市部分を整備するよう県に要望しているか。